

タテ科 ギンギシ属

総合対策
(その他)

ナガバギンギシ (長葉羊蹄)

Rumex crispus L.

自生環境

道ばた、野原、荒れ地 など

原産地

ヨーロッパ

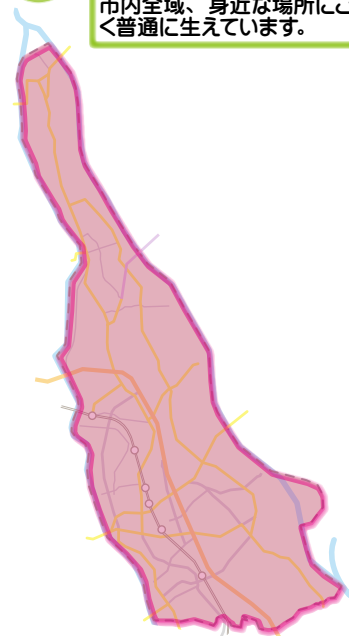
予想される被害



根が太くて頑丈なため、農地に一度侵入すると除去するのは大変です。またギンギシの仲間は交雑しやすく、在来種との間にさまざまな組み合わせの雑種ができています。

市内の分布状況

市内全域、身近な場所に広く普通に生えています。



特徴

- ☆ 市内で最も普通に見られる外来種のギンギシ類で、身近な場所のいたるところで目につきます。とても丈夫で増える力もとても強く、今や世界じゅうに広がっています。株の寿命が長く、何年もかけて太い根をがっしりと下ろすため、一度生えると簡単には引っこ抜けません。
- ☆ ギンギシとよく似ており、しばしば見分けに悩むような株も見られます。ただナガバギンギシの葉は葉色が濃く、縁がフリルのように強く波打つ傾向があります。また花や果実の穂はギンギシに比べると多少間延びしてすき間が見られる傾向があります。
- ☆ 果実期には3枚の花被片が1個のタネを包むように形になります。この花被片は縦長で、縁はふつうギザギザしません。粒体は花被片3枚ともありますが、その大きさは不揃いです。また果実が成熟すると穂全体が赤くなる傾向があります。

ナガバギンギシ系の雑種

ギンギシの仲間は交雑しやすく、さまざまな組み合わせの雑種が知られていて、市内でも多数見出されています。ナガバギンギシを片親とするものとしては、アイノコギンギシ (× ギンギシ)、ノハラダイオウ (× エゾノギンギシ)、アレチナガバギンギシ (× アレチギンギシ)、ナガバノギンギシ (× ノダイオウ) などがあります。この中ではアイノコギンギシとノハラダイオウが特によく目につきます。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

